

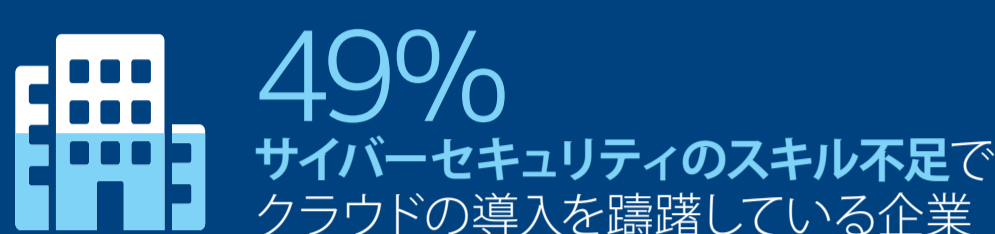


クラウドの採用率は90%を超えています。IT部門は問題を抱えています。対策は万全ですか？

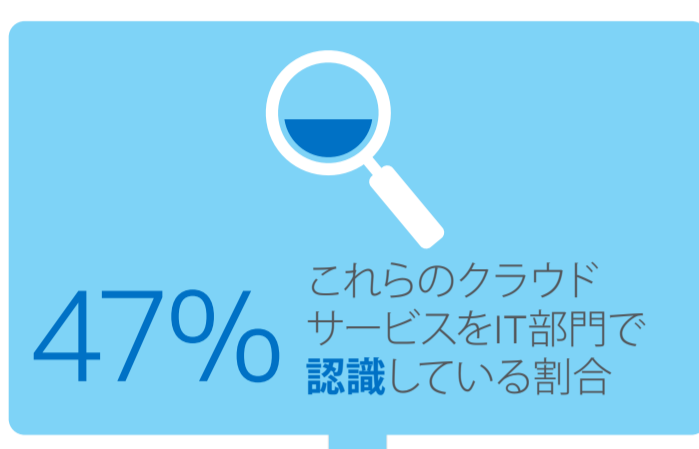
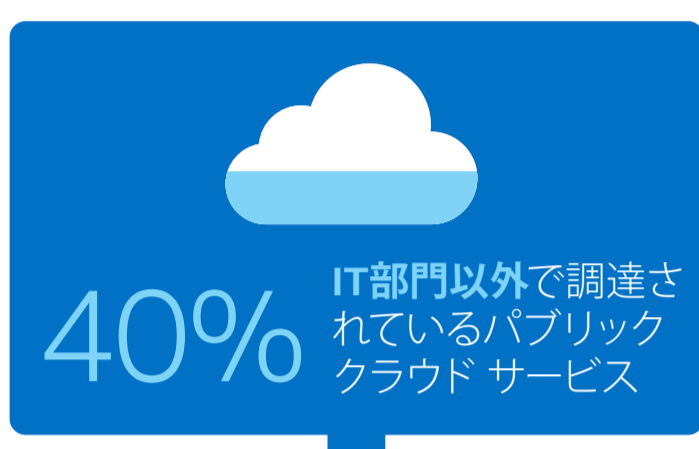
クラウドの普及は進んでいますが、課題もあります。

世界の1,400人のITセキュリティ専門家が、クラウドの急速な普及に伴い、クラウドで扱われる重要データが増加していると答えています。

しかし、大きな問題も残されています。

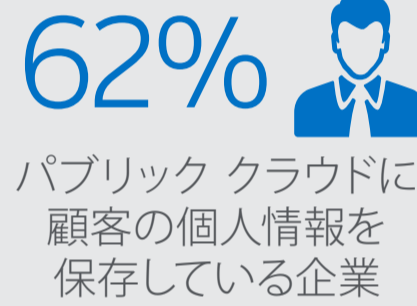


IT部門の統制が効かないクラウドサービスが増えています。



**65%** シャドウITがクラウドセキュリティを侵害していると考えているIT担当者

パブリッククラウドで扱われる重要データが増加していますが、リスクも存在しています。



データセンターは進化しています。

主流はプライベートクラウドからハイブリッドクラウドへ

**2015年**

**2016年**



プライベートクラウドのみ

ハイブリッドクラウド



プライベートクラウドのみ

ハイブリッドクラウド

...さらにクラウド化が進みます

**73%**

2年以内を目途に完全なソフトウェア定義データセンターへの移行を計画している企業

**80%**

コンテナを使用している企業



IaaSへの移行を進めている回答者が最も懸念しているのは一貫したセキュリティ統制の実現です。すべてのクラウド（プライベート/パブリック）と従来型のデータセンターのインフラを一元管理できるセキュリティが求められています。

クラウドの普及は今後も進み、クラウドで使用されるアプリケーションやデータも多様化していきます。リスクを回避するには、統合されたセキュリティソリューションでクラウドサービスの可視性と統制を強化する必要があります。

詳細については、ホワイトペーパーをご覧ください。

『クラウド環境の信頼性の向上』  
[www.mcafee.com/cloudsecurityreport](http://www.mcafee.com/cloudsecurityreport)

